

いね バケツ稲づくり マニュアル

いね
観察しながら稲を育ててみよう！

いね バケツ稲づくりカレンダー

こちらを用意しましょう！

ポリバケツ
(10～15リットルのもの)

種もみ・肥料セット
(※写真と実物は異なる場合があります)

土
(黒土、赤玉土(中粒)、鹿沼土(小粒)を混ぜます)

いね
稲が成長する様子



芽出し

種まき



ぶん
分けつ
(稲の枝分かれ)



ぶん
分けつがすすむ



なか
中ぼし



花がさく



穂が出る



お米ができる



稲
かり



脱
く(もみをはずす)



も
みすり
(玄米にする)



精
米
(白米にする)

5月

6月

7月

8月

9月

10月

いね 土の準備

土は、「黒土6、赤玉土(中粒)3、鹿沼土(小粒)1」の割合で用意し、ビニールシートなどに広げて乾かして、肥料を混ぜます。

セットの肥料は、チッソ、リン酸、カリの3要素を含む化成肥料で、収穫まで肥料を追加しなくても育ちます。

使用する土の種類と注意点：黒土が販売されていない地域で、黒土のかわりに荒木田土を使う場合は赤玉土を2、3割混ぜてください。荒木田土もなく培養土を使う場合は、有機肥料の使用がない、または少ないものを選んでください。土の説明書きに肥料入りとあるものには最初は肥料を入れないで、中ばし終了後に肥料を入れてください。



▲乾かすと土にすんでいる菌が活気づき、稲の成長を応援してくれます。

▶肥料は、1つのバケツあたり1袋入れます。

